



# 2022年度第2学期客員教員ゼミ



教員と学生が互いに意見を交わしながら進めていく学生主役の授業です。

放送大学の正式な授業ではありませんので、単位の修得は出来ませんが、学生のみなさんと教員の方々との交流を深め、孤立しがちな皆様の勉学の質を高めるために開催しています。みなさんの積極的なご参加をお待ちしています！

対象者：長崎学習センター所属の学生（選科・科目履修生も参加できます）、名誉学生

原則として、毎回受講ができる学生に限ります。

受講料：無料

定員：各ゼミ10名程度（複数ゼミ申込可）

実施会場：長崎学習センター講義室（堀内ゼミ：長崎創楽堂（長崎大学教育学部音楽棟1階））

申込方法：QRコード、電話（095-813-1317）

申込期間：10月1日（土）～10月31日（月）

※受講可否については、11/8（火）にメールでお知らせします。

※対面での開講を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染状況次第では、対面での開講を中止しZoomでの開講または閉講になることがあります。



QRコード

## 旅のお供は、ご当地ソング～歌がつむぐ、国内旅行 パート2～

担当教員	堀内 伊吹 先生
講義内容	日本各地には、その街の景色が見えてくるような、そんなご当地ソングがたくさんあります。今回は、そのパート2として甲信越地方からスタートして沖縄まで、皆さんと一緒に歌で旅をします。前回同様、ご当地の特産品や名物などもご紹介しながら、音楽紀行を愉しみます。
開催日	①11/29（火）東京および甲信越の旅      ③1/31（火）九州・沖縄地方の旅 ②12/13（火）中国・四国地方の旅      ④2/7（火）特集 長崎の唄、長崎の音
時間	13：30～15：00

## 気候変動が生物や生態系に及ぼす影響を考える

担当教員	山下 樹三裕 先生
講義内容	絶滅のおそれがある野生生物種が、2020年には3,716種リストに掲げられている（レッドリスト）。その中で気候変動がその要因の1つとして関わってくるものの数が、近年急速に伸びてきている。絶滅の恐れとまていかないまでも気候変動がその生物種の暮らしに大きな影響を与えているものの数は計り知れない。1つの生物種に大きな影響をもたらされた場合には、当然ながら生態系にも影響が現れてくる。 興味を持てる生物種について、数名のグループをつくり、自主的に課題を選定し、アドバイスを受けながら各グループでそれぞれ役割分担（どの項目をどの程度まで調べてまとめるか）を自主的に決めて、気候変動がその生物種にどのようなメカニズムでどのような影響をもたらしたか、そして改善策はあるのか等を考察していく。ゼミ内で、纏めた成果をお互いに発表して議論するので、パワーポイントが使える様にしておいてください。
開催日	①2/8（水） ②2/15（水） ③2/22（水） ④3/1（水） ⑤3/8（水）
時間	13：30～15：00

## Officeソフト（WordとExcel）の活用に向けて（2）

担当教員	丹羽 量久 先生
講義内容	第1学期に続き、文書作成ソフトWordと表計算ソフトExcelを対象にして、皆さんのニーズや疑問を受講者間で共有するとともに、関係のある話題を提供します。各ソフトの種々の機能を試せる課題を設定して、それらを解決するための考え方や具体的な操作等について、一緒に操作しながら方策を考えていきます。適宜、受講者同士で教え合う機会も作る予定です。
開催日	①11/17（木） ②12/22（木） ③1/26（木） ④2/16（木）
時間	13：30～15：00

特別な配慮が必要な子どもの性発達と支援方法	
担当教員	宮原 春美 先生
講義内容	発達障がいなど特別な配慮が必要な子どもへの支援の必要性が言われていますが、彼らの対人関係能力、コミュニケーション能力の低さから来る性的表現方法のまずさが性的問題行動につながる可能性があります。しかし、性に関する情報があふれる社会で彼らがその情報を取捨選択するのは非常に困難と言えます。特別な配慮が必要な子どもの性発達と支援方法の必要性について、皆様のご意見を交えながら考えていきたいと思えます。
開催日	①3/2 (木) ②3/9 (木) ③3/16 (木) ④3/23 (木)
時間	14:00~15:00

研究報告・論文のまとめ方	
担当教員	山下 敬彦 先生
講義内容	実験の報告から研究論文まで、様々な学術的な文章には基本のスタイルがあります。一度身に着けると、授業の課題、実験・実習の報告書、卒業研究の報告書、学術論文などに応用可能で、大変便利です。ゼミでは、このような学術的な文章基本のスタイルについて理解し、使えるようになることを目指します。特に、卒業研究等に活用してもらいたいため、卒業研究の報告書や修士論文の作成を前提とし、以下の順序で段階を踏んで解説します。
開催日	①11/15 (火) 表題のつけ方 ④1/28 (土) 方法(装置・原理を含む)の書き方 ②11/30 (水) 概要のまとめ方 ⑤2/21 (火) 結果の書き方 ③12/20 (火) 導入と結論の書き方 ⑥3/14 (火) 考察に書く内容
時間	13:30~15:00
使用テキスト	理科系の作文技術(木下是雄 著/中公新書/¥770-/ ISBN 9784121006240)

心理学ア・ラ・カルト	
担当教員	加來 秀俊 先生
講義内容	心理学はおもしろく楽しい学問です。でも、そのおもしろさがなかなかわかりにくいかもしれません。すごく身近な学問だといえますが、あまりにも身近すぎて、そのおもしろさに気づくまでの道のりが遠すぎるのかもしれません。素材は私たちの生活そのものです。日ごろ、だれもが経験しているあたりまえの出来事が対象となるために、普通はあまり疑問に思わずに過ごしています。しかし、一度気にしたら、それは心理学への第一歩を踏み出したこととなります。心理学の研究領域にとらわれず、日常生活の出来事を心理学の視点から考えていきましょう。
開催日	①2/25 (土) ②3/4 (土) ③3/11 (土) ④3/18 (土)
時間	13:30~15:00

統計データの見方・考え方	
担当教員	西田 孝洋 先生
講義内容	現代のデータ社会においては、統計と確率は様々な事象を分析して、その傾向を理解し、合理的な判断をするために、大いに役立っています。特にコロナ禍では、感染状況や対策などに不可欠です。今回のゼミでは、統計解析や確率分布など、基本的な事項をわかりやすくまず解説します。さらに、これまでに得られてきた身近な統計データの見方・考え方の練習のために、実際に解析したいと思えます。さらに、ベイズ統計学などデータサイエンスの基礎についても紹介します。
開催日	①2/4 (土) 統計と確率の基礎 ③3/5 (日) これまでの統計データ 2 ②2/12 (日) これまでの統計データ 1 ④3/19 (日) ベイズ統計学
時間	14:00~15:00